

ごあいさつ

会員、勤労者の“つながり”を強め、 助け合いの輪を社会に広げます。



平素より、私ども静岡県労働金庫をご愛顧いただき、誠にありがとうございます。

当金庫の事業の状況をご案内するため、ディスクロージャー誌「静岡ろうきんレポート」を作成いたしました。多くの皆さまにご覧いただき、当金庫に対するご理解を一層深めていただければ幸いです。

はじめに、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、亡くなられた方々にお悔やみを申し上げますとともに、罹患された方々とそのご家族に対し心よりお見舞いを申し上げます。

また、感染症の収束に向けご尽力されている医療関係者の皆さまに深く敬意を表し、感謝申し上げます。

2020年度は、2018年度からスタートした第3期中期計画（2018～2020年度）『真価』の最終年度として、「各到達指標の必達」と「次期中期計画につなげる1年」と位置付け、デジタル化の進展など刻々と変化する社会環境を意識し、更なる深化・進化を追求してきました。結果、預金・融資ともに目標を大きく上回る成果となりました。これもひとえに皆さまのご理解とご協力によるものであり、あらためて感謝申し上げます。

金融機関を取り巻く環境は、コロナ禍に加えて人口減少、低金利環境の長期化など厳しさを増すばかりですが、はたらく仲間がつくった福祉金融機関として（ろうきん）には果たすべき役割と必要性が変

わらずに存在しており、生活者本位の基本姿勢を貫くことが至上命題との想いで事業と運動の拡大に邁進しております。

感染拡大防止のため、非接触・非対面の活動が推奨される中、〈静岡ろうきん〉は、インターネットバンキングやアプリ等各種Web取引チャネルの拡充、リモート会議やテレワーク環境の整備を進めておりますが、多様化するお客さまニーズへの対応力を向上させると同時に、お客さまの立場でお客さまに寄り添い、信頼され続ける金融機関でなければなりません。時代に即した営業形態を模索しながら、事務の品質向上・効率化を図ることで、会員・お客さま一人ひとりに寄り添った対応を行う時間を創出してまいります。

はたらく仲間は、大切なお金を安心して預けることができ、自らのライフイベントや夢を実現するために膝を突き合わせた相談ができる存在を望んでいるはずです。人と人をつなぐ、信頼関係の大切さを胸に、この「人生100年時代」に勤労者の皆さまが一生涯にわたりもつとも安心・信頼できる金融機関であることを目指し、〈静岡ろうきん〉役員一同、一つひとつの事業に全力で取り組んでまいります。引き続き変わらぬご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

2021年7月

理事長 古川 正明